



## 理事長ご挨拶

日頃より、私どもの活動にご理解ご協力ありがとうございます。

本年は、「自然とふれあおう！わんぱく KIDS」の第 20 回開催と節目の年となりました。この間に参加児童が成長し、学生リーダーや社会人スタッフとして協力してくれたり、結婚やお子さんが生まれたり「わんぱく KIDS」の輪も広がりました。また、近年は中学生リーダーも多く参加頂き、大学生に負けない責任感と行動力で大事な力となっています。中学 1 年生になった子が、リーダーは深夜までかたづけや次の日の準備をしていることを知り、「小 6 の頃は就寝後も寝ないで迷惑かけていたな」と反省していたのが印象的でした。

これまで多くの個人、団体のご支援により、開催することができました。心より感謝申し上げます。

私どもは、自分の考えを持ち、他者の考えを認め、社会で率先して役割を担うことのできる自立した人々が協力する社会「自立型共生社会」の実現を理念に活動しています。

本キャンプはそのひとつとして、自然とのふれあいにより五感を研ぎ、人とのふれあいにより対話力を養うことを目的に実施しています。特に、4 日目の班別自由行動は、目的、企画やタイムスケジュールなどを班のメンバーで相談して決める、主体性を重視したプログラムです。意見がなかなか合わず苦勞する班もありますが、最終的にはみんなで協力しまとめ上げ、楽しそうに活動していました。

本キャンプが、児童、生徒、学生リーダー、スタッフなど参加する全員の自立心、共助心を培う一助となれば幸いです。地球規模での自然災害の増加や不安定な国際社会など、次の社会を担う子どもたちの環境は厳しいものと思われませんが、自ら道を切り拓き、より良い社会を築き幸せになってほしいと切に願います。

今後とも、ご支援の程よろしくお願いいたします。

特定非営利活動法人 シンク・イー 理事長 喜 多 隆 正

## ジュニアボランティア募集について

当事業では、ボランティアリーダー育成の一環として、メンバーとして参加経験のある中学生・高校生の「ジュニアボランティア」の募集をしております。

プログラム体験に加え、運営に参加することで異年齢の集団生活や組織の中で役割をもって行動する機会となります。

保護者の方は今後、ご参加をご検討ください。



ボランティア感謝状を受け取る中学生リーダー  
今年は 5 名の中学生が参加してくれました

※来年度、再来年度（2020・2021 年度）は東京オリンピック・パラリンピック、宇佐美学園の改修工事等の都合で、通常とは異なる実施になる可能性がございます。

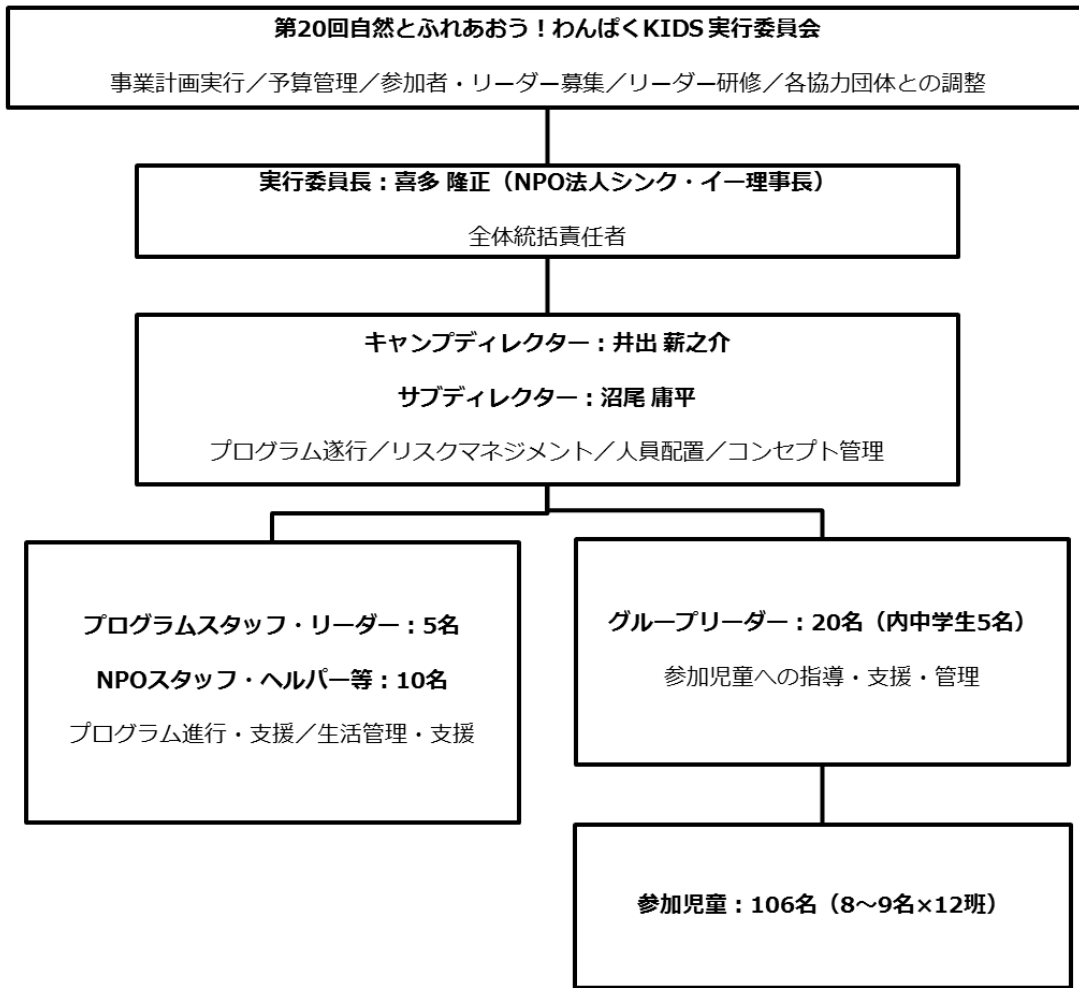
## 実施概要

構成団体	主催	特定非営利活動法人 シンク・イー
	後援	中央区教育委員会 特定非営利活動法人 東京中央ネット
	協力	中央区立宇佐美学園 公益社団法人 東京青年会議所 中央区委員会 宇佐美江戸城石丁場遺跡・伊豆古道保存会
主催団体 理念		「自立型共生社会の実現」
事業名称		第20回「自然とふれあおう！ わんぱく KIDS」IN 宇佐美
事業目的		青少年の健全育成・ボランティアリーダーの育成
事業コンセプト		「自分でできることは自分です。できないことは助け合う。」
開催日程		2019年8月5日から8月9日 4泊5日
開催拠点		中央区立宇佐美学園とその周辺地域及び小田原・湯河原地域
事業概要		子ども：3～6年生の男女各1～2名 リーダー：1～2名 合計10～12名で1つの班を構成。全12班 班別行動を基本とし、海・山・川のなどの豊かな自然環境の中で各アクティビティを体験する組織キャンプ。寝室は学年を考慮した男女別の8室
参加者		中央区在住・在籍の児童3～6年生 計106名（応募者数 263名）
ボランティア人員		中学生リーダー 5名 大学生・大学院生 17名（帝京・文教など） 社会人・リーダーOB 4名 地域の方 6名（宇佐美・湯河原・熱海地域） NPO・協力団体 13名 宇佐美学園職員 約20名
問い合わせ先		特定非営利活動法人 シンク・イー MAIL： <a href="mailto:2019wanpakukids@gmail.com">2019wanpakukids@gmail.com</a> TEL：03-6661-0843
写真&報告書 DL		URL： <a href="http://www.tokyochuo.net/meeting/kids/jigyuu/wanpaku2/index.html">http://www.tokyochuo.net/meeting/kids/jigyuu/wanpaku2/index.html</a> 「わんぱく KIDS 宇佐美」で検索 (10月上旬頃にアップ予定です)

QRコードはこちら



## 組織・役割



## 事業の主なスケジュール

時期		活動内容
2019	4	行政手続き開始
		事業日程確定
		各種手配開始（各会場・協力団体等）
	5	キャンプボランティア募集開始
		参加者募集チラシ配布
	6	参加者応募受付開始
		参加者抽選結果告知
		キャンプボランティア募集説明会
	7	宇佐美学園と打ち合わせ
		参加者保護者説明会
		キャンプボランティア研修会
		人員配置・プログラム決定
		備品準備
		宇佐美学園準備・最終ミーティング
	8/5~9	第20回自然とふれあおう！わんぱくKIDS実施
	8	評価会実施
		各種精算開始
	9	報告書完成・配布
		思い出写真ホームページアップ
	10	評価会実施
2020	1	事業決算完了
		最終評価会と次年度への引継ぎ

※保護者説明会・学園準備・海の監視役・最終日の片づけなど、たくさんの協力者に支えられています

## 5 日間のプログラムのポイント

### ■わんぱく KIDS の約束

- 1、自分でできることは自分でしよう！
- 2、ひとりではできないことは助け合おう！
- 3、あいさつをしよう！
- 4、身の回りはきれいにしておこう！
- 5、生き物はたいせつにしよう！
- 6、リーダーになんでも相談しよう！

### ■方針

生活重視（あいさつ・清掃・整理整頓・履物をそろえる・身体をよく拭いてから浴室を出るなど）

### ■清掃・整理整頓

毎朝清掃と荷物整理をし、身の回りを自ら正す経験から生活面での自立への気づきを促す

### ■食事

手をつける前に自分の食事量を考慮し、同じテーブルのお友達とシェアをし、残さないようにする  
嫌いなものは目標量を決めて食べる努力をする

### ■班のキャラクターづくり

班のシンボルとなるキャラクターを作り、班員としての意識を高める  
作成したキャラクターを班旗とし、仲間としての意識を高める

### ■山・川・海での自然体験

都会で出来ない体験により自然への理解を深める  
自然での遊びを通じて常にチャレンジをし、成功・失敗体験をする

### ■班別自由行動の計画

班ごとに決めたスローガン達成のため、4日目のプログラムを話し合い計画する  
自己分析、集団の意思決定、自立への気づき  
自己・他者を大切にすることの重要性の認識

### ■江戸城石丁場遺跡散策

身近な地域からの歴史理解(中央区と宇佐美のつながりなど)

### ■炊事体験・ひものづくり・食育ガイダンス

他の生き物の命をもらって生きていることへの気づき  
家族をはじめ多くの人たちの労力があって食事ができることへの意識付け  
出汁からつくる豚汁や、鍋での炊飯など日本の食文化への理解

### ■思い出発表会・キャンドルファイヤー

最後の夜にこれまでの思い出を発表し、全体の一体感と達成感を高め、キャンプの収束とする

## 5 日間の様子

	1 日目 (8 月 5 日)
朝	T-CAT 集合・出発 (7:30)  トイレ休憩 (海老名 S.A)  湯河原幕山公園着  川遊び
昼	昼食 (弁当) 湯河原幕山公園出発 宇佐美学園着 入所式 (宇佐美学園中庭にて) オリエンテーション レクリエーション  入浴 夕食
夜	キャラクター・班旗づくり  消灯 (21:00) リーダーミーティング



①



②



③



④



⑤

- ①② 幕山公園での川遊び 冷たくて流れも速い!
- ③ 宇佐美学園での入所式。5 日間のルールなどを真剣に聴いています
- ④ 夜のプログラム。各班で 5 日間のシンボルとなるキャラクターを考え、プラ板と班旗を作りました!
- ⑤ 作ったプラ板の原案

2日目 (8月6日)	
朝	起床 朝のつどい (7:00) 朝食 清掃 宇佐美海岸着 磯浜あそび
昼	昼食 (弁当) 磯浜あそび ドラゴンボート体験 (6年生のみ) 宇佐美学園着 入浴 夕食
夜	宇佐美の歴史・石丁場遺跡講演 消灯 リーダーミーティング



①



②



③



④



⑤

- ① 朝のつどいで身体を動かします
- ② 宇佐美海岸での海水浴！
- ③ 磯浜では魚やカニ、ヤドカリ、ナマコなどを観察することができます
- ④ 今年は6年生だけ特別にドラゴンボート体験をしました！
- ⑤ 3日目の裏山散策で巡る遺跡の講演を聴きました  
学園の裏山は昔、江戸城（現、皇居）の石垣の石を切り出して  
いたところなんです



3日目 (8月7日)	
朝	起床 朝のつどい 朝食 清掃  班別行動 (ローテーション) ・ひものづくり ・裏山遺跡散策 ・プール
昼	昼食 (弁当) 班別行動 (ローテーション) 食育講座・工作体験  炊事体験(炊飯、豚汁、ひもの)  入浴 夕食
夜	4日目の班別自由行動の計画  消灯 リーダーミーティング



①



②



③



④



⑤



⑥

- ① ひものづくり！出刃包丁を使うのは初めての子がほとんどです
- ② 裏山の石帳場遺跡散策 昨夜教わった江戸城の石を見に行きました
- ③ 子どもに人気のプール 今年も宇佐美も暑かった！
- ④⑤ 午前中に干した干物と、豚汁を調理し、ご飯もお鍋で炊いてみんなで食べました！
- ⑥ 4日目の班別自由行動の計画です 自分たちで目標を決め、自分たちで楽しめるプログラムをみんなで考えます

4日目 (8月8日)	
朝	起床 朝のつどい 朝食 清掃  班別自由行動 海、工作、プール、街探検 体育館遊び、発表会練習等
	昼食 (弁当)  班別自由行動 海、工作、プール、街探検 体育館遊び、発表会練習等  入浴 夕食
夜	発表会 キャンドルファイヤー 消灯 リーダーミーティング



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨

- ① 自由時間での体育館遊び ② 海にでかける班も  
 ③ 発表会の準備 ④ 積み木で遊んでいます  
 ⑤⑥ 発表会の様子 クイズや劇など出し物は様々でした！  
 ⑦ 最後の夜のキャンドルファイヤー 総勢約 130 名で同じ火を  
 囲みます  
 ⑧ 子どもたちが代表で感想を話してくれました  
 ⑨ 班ごとにわかれて話をしています 名残惜しくて泣いてしまう  
 子も・・・

	5日目(8月9日)
朝	起床・退所準備 朝食 大掃除 退所式・宇佐美学園出発

昼	石垣山一夜城歴史公園到着 自由行動 昼食(弁当)
夕	石垣山一夜城歴史公園出発 T-CAT解散(17:20)

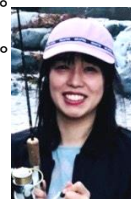


<プログラムスタッフ所感(小林由依)>

私は社会人のボランティアスタッフとして、主にプログラムの進行を担当致しました。子どもたちは5日間、各班のリーダーと一緒に活動をしました。しかし、私が担当した3日目の体育館での工作プログラムの時間は、あえて各班の子どもたちだけで過ごす時間としました。すると、班の中でリーダーシップをとる子が現れました。また、自分より年下の子や、困っている子に声をかけたり、自分でできないことを班の仲間に助けてもらったりする様子が見えました。これって、凄いことだなと思います。

子どもたちは、環境に変化に対応して、何とかしていこうと試行錯誤していました。この「何とかしていこう」という行いは、わんぱくKIDSの約束の「自分でできることは自分です。できないことは助け合う。」に繋がると考えます。普段生活している中でも、「何とかしよう」と奮起するタイミングはあると思います。しかし、わんぱくKIDSが非日常的な体験だからこそ、個々が変化に対応しようと奮起する様子が明確になっていました。また、私自身そうですが、生きているといつもと違う役割を急遽担わなくてはならない瞬間があります。その時に、この「何とかしていこう」という経験があることで、さらに成長していけるのだと思います。

環境の変化に対して自分なりに対応しようとする子ども達の姿に心動かされました。改めて、子どもたちと活動することが好きな自分を発見できました。たくましい子どもたちと素敵な大人たちに出会えたことを感謝します。



<キャンプディレクター補足(シンク・イー 井出 新之介)>

本年度もほぼ全日天候に恵まれ、大きな事故もなく過ごすことができました。ただ事業終了後には貴重なご感想等を頂戴し、改善すべき点も顕出されました。近年、私たちのキャンプも多様性が増し、子ども同士、子ども-ボランティア間といった他者とのコミュニケーションの場面において、事業の難易度があがってきていると実感している次第です。

また「都会に住む子どもたちへの事業」というのは、性格上、寄附や協賛が集まりにくく、今年はいくつかの寄附が打ち切られ、自分たちの力不足に悔しい思いも致しました。しかしそのような中、参加費を安価に抑え、多くの方に参加の機会を提供し、安全に過ごすことができたのは、大勢の方の支援があったからこそです。この場を借りて厚く御礼申し上げます。今後とも当会及び当事業にご理解・ご協力を賜れますようお願い致します。

<参加者・リーダー感想文紹介>  
参加者が描いた遺跡散策の絵

ボランティアリーダーの感想

私はキャンドルファイヤー一番心に残っています。4日間を振り返り、思い出がたくさんできたことを実感しました。また、その思い出の中でも自分で行ったことは自分で、という目標を(おれ)を見て次いつかどこか何をするのか、それに合うために、それを楽しむために何か必要なのかを考えることで達成できました。そして、できないことは助け合うという目標を予物作りや豚汁、こぼれを協力で作ることで達成できました。私は今回、とても楽しい時間を過ごすことができた。わんぱくKIDSに協力してくれて皆様、本当にありがとうございました!

わんぱくKIDSのお楽しみを

→うらに班となまえを書いてね!  
(太く、濃く書いてね。)

わんぱくKIDSのお楽しみを

→うらに班となまえを書いてね!  
(太く、濃く書いてね。)

初めての経験で、しかも2日目からという参加で、リーダーという経験が積まれる戸不安な部分もありました。このキャンプも参加です。場所も人もほとんど知らない環境の中ですが、リーダーも子どもたちも温かく迎えてくれて、なんと5日間の行程を終わらせることができました。子どもはいつでも元気な笑顔を見せてくれて、救われた。自分自身も学ぶこともたくさんありました。「自然とふれあおう」というテーマで、海、川、山などたくさん自然に触れ、学びました。田舎で、海で日焼けしたところも子どもたちにも、リーダーも子供も平気な様子で、子どもたちが楽しそうに僕らも聞いてくれたのも今は思い出です。行事ごとには、(面倒ごと)と言っている子も、言葉に伝わり、楽しんでいました。班のために頑張っている姿が、5日間子どもたちばかり知らなかった成長していることがわかりました。班にはまだまだ学ばなければならないものがあります。自分自身も、自分自身で行われていて、感動しました。リーダーが楽しんでいると、子どもたちもついてきてくれる。というところが分りました。僕は、数週間という大学3年生の身ですが、学校や保育の集団とは違う環境で、2年間の経験が活かされています。(その中で、私は思っている通りです。)

わんぱくKIDS 2017 4日目リーダー 吉田 藤哉

わんぱくKIDSのお楽しみを

→うらに班となまえを書いてね!  
(太く、濃く書いてね。)

## 協賛

(株)ロイヤルパークホテル  
(株)ピーティールディングス

(株)建設技術研究所

## 物品協賛・協力

(株)秋山商店  
(株)オーガニックキッチン  
(公社) 東京青年会議所 中央区委員会  
天麩羅 天音

大和物産  
小坂こども元気クリニック  
(株)ネオ・コミュニケーションズ

古屋法律事務所  
富江 裕子  
永塚パートナーズ法律事務所  
(株)サヨカ  
(株)トミタ  
(株)スプリームハウス建築工房  
(株)NOGUCHI  
木嶋 正佳  
(株)Ripple

(株)小川商会  
半澤 勝己  
(株)マウンテン・ワン  
(株)サプル  
飯塚 宜広  
八大(株)  
医療法人社団誠次会  
伊達総合法律事務所

大森造園建設(株)  
(株)日本ワークサービス  
下目黒歯科内科  
前田 千晴  
高松建設(株)  
タチバナアーツ管理(株)

桑原 宏史  
(株)ダヴィンチ  
朋和商事(株)  
  
(株)中央コミュニティー  
(株)セントラルエステート

(※順不同 敬称略)

＜当報告書に関するお問い合わせ先＞

特定非営利活動法人 シンク・イー

Tel: 03-6661-0843

Mail: 2019wanpakukids@gmail.com